



## 学力調査の結果と授業改善

校長 関根 弘

全国学力・学習状況調査という調査が全国の小中学校で毎年行われています。

調査の主な目的は、「全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる」こととされています。

調査対象は、「国・公・私立の小学校第6学年と中学校第3学年」となっています。

今年度の調査は、令和4年4月19日に行われ、その結果が出て参りましたので、結果の報告と今後の本校の取組についてお伝えしていきます。

### <調査結果(国語)>

分類	区分	平均正答率(%)		
		本校	東京都	全国
全体		78	69	65.6
評価の観点	知識・技能	80.4	72.0	70.5
	思考・判断・表現	75.9	66.2	62.0
問題形式	選択式	80.8	75.3	71.8
	短答式	79.2	65.7	63.6
	記述式	68.5	53.9	51.3

### <調査結果(算数)>

分類	区分	平均正答率(%)		
		本校	東京都	全国
全体		74	67	63.2
評価の観点	知識・技能	77.0	72.4	68.2
	思考・判断・表現	71.2	60.5	56.7
問題形式	選択式	58.9	56.7	51.8
	短答式	84.8	80.6	76.5
	記述式	82.1	62.7	60.2

### <調査結果(理科)>

分類	区分	平均正答率(%)		
		本校	東京都	全国
全体		73	65	63.3
評価の観点	知識・技能	67.0	63.6	62.5
	思考・判断・表現	76.8	66.5	63.7
問題形式	選択式	72.7	69.4	66.8
	短答式	81.5	67.0	66.2
	記述式	67.3	49.6	47.3

### <調査の結果より>

- 国語・算数・理科、3教科共、全国、東京都の平均値を上回ることができました。(上記太枠参照)
- 評価の観点からの分析においても、3教科共、「知識・技能」「思考・判断・表現」、全ての項目で全国、東京都の平均値を上回りました。
- 問題形式の観点からの分析においても、全ての形式で全国、東京都の平均値を上回りました。この中の記述式の問題形式(文章を要約したり、論理的に考えて言葉で記述する形式)が東京都や全国の平均に比べてかなり高かったことが分かりました。(上記表の下線を引いた数値)
  - ・国語(全国と比べて+17.2ポイント)
  - ・算数(全国と比べて+21.9ポイント)
  - ・理科(全国と比べて+20ポイント)
- この表では分かりませんが、問題別集計結果を分析してみると、本校の無解答率(答えを書かない)はかなり低く、無解答で終了した児童がとても少なかったという結果が出ておりました。これは、「最後まであきらめず努力する」児童が増えてきていることが成果として表れたものと考えています。
- 理科と算数の観察や実験の知識・技能が問われる問題で、正答率が低かった問題が数問ありました。

### <本校の授業改善>

4月の保護者会でもお伝えしておりますが、思考力・判断力・表現力の育成のために、以下のような取組を今後も続けて参ります。

- 「板橋区授業スタンダード」の徹底
  - ・めあての明確化
  - ・自力解決時間の確保
  - ・ペア、グループ、集団での検討
  - ・一問繋答型(発言をつなげる)の授業
  - ・まとめ、振り返りの時間の確保(考えて文字に表す)
- 読み解く力(文章や問題文の意味を正しく読み取る力)の育成
  - ・10月と12月に研究授業を行う。授業改善のために議論し、講師から指導も受ける。
- 「授業改善プラン」の作成と実行
  - ・今回の国の調査や東京都の学力向上を図る調査、また、日々の授業の様子やノートやテストの結果を基にして「授業改善推進プラン」を作成しております。各教科ごとに、本校のHP(ホームページ)に掲載しておりますのでご覧ください。
  - 本校のトップページにアクセスしていただき、→教育活動→授業改善推進プラン→各教科の授業改善プランでご覧いただけるようにしてあります。

